

優秀賞

住宅の部

建築主：野口 寛尚

設計：住友林業ホームテック株式会社

施工：住友林業ホームテック株式会社

所在地：山武市森273

～古民家再生による地域遺産の継承～

山武 野口邸



全景

千葉県山武市の谷津の中腹にたたずむ本建築は、江戸後期の文政期に建設された築190年になる豪壮な古民家である。創建当初から瓦葺きであったという寄棟の大きな屋根の下、式台を備えた格式高い家である。

今回の改修では、主に昭和期に改装された部分を解体し、土間を再現している。土間上部は太い梁の見える吹き抜けとし、南・東側には高窓を設置することによって、通風と採光を家屋深部にまで届ける空間となった。

また、古い家につきものの寒さ対策としては、窓・床・天井を断熱化し、居間・寝室には床暖房を設置。土間には山武市が利用促進をしているペレットストーブも導入され、万全の体制となっている。

構造面においても、床下の防湿コンクリートを打設し、制振ダンパーも設置することで、古い家に住み続ける上での安心安全対策も十分に行われている。

家の随所には、大阪障子や手すりなどの旧材が再利用されている。とくに、北西手洗いの奥に隠れていたという格子とその上部の欄間彫刻は、外側にガ

ラスを入れて採光ができるようにした上で再生されているが、繊細な彫刻から陽が差込む様子には、数人ずつ拝見していく審査員が次々に感嘆の声をあげていた。

近年、古民家の再生事例の応募はとみに増えている。千葉県下にこのような豊かな建築遺産があることに驚く。これらの建築を今まで維持されてきた方々に敬意を表するとともに、こうした取り組みがさらに広まることを期待したい。

(穎原 澄子)



復元し吹き抜けとした玄関土間



玄関土間上部

江戸時代の松の小屋組みと6mのケヤキの大黒柱